

平成27年度 吉野川高等学校「学力向上実行プラン」

1 本年度の重点目標

- ① ノートの取り方を丁寧に説明し、わかりやすい授業を実施することで、基礎学力の向上を図る。
- ② 多くの資格を取得することにより、生徒一人ひとりの専門性を高める。
- ③ 読書の習慣を身につけさせる。
- ④ 新聞等を利用し、身近なニュースに関心を持たせる。

2 具体的な現状と課題・目標・取組・評価

年次	学科	現状と課題	本年度の目標	具体的な教員の取組	評価
全	国語	漢字テストは、国語科の重要な取り組みであるとの認識が生徒達にも浸透しつつあるためか、昨年度はほぼ目標に近い結果を得ることができた。週末課題を充実させ、昨年度を上回る平均点を目指す。	漢字テストの平均点を上げる。 全学年の平均65点以上	週に1回、授業中に全クラスで漢字テストを実施する。 ノートを授業用と漢字練習用の2冊準備し、漢字練習ノートは週末の課題とし、100%の提出をめざす。 未提出の生徒については放課後を利用して取り組ませる。	4 3 2 1
		提出物や毎日の授業の板書をとることはほぼ全員ができています。しかし写すだけの生徒も多い。	課題の提出100% 課題テスト平均点65点以上	授業の始めに基礎力ドリルや就職試験の問題を解く。 ノートを計算用と授業用の2冊準備し、丁寧にノートをとるように指導し、計算用には繰り返し練習して学習させる。	4 3 2 1
全	数学	提出物や毎日の授業の板書をとることはほぼ全員ができています。しかし、ただ答えを写すだけの生徒もいて実際に力がついていないかを確認できていない。	計算の授業を充実させ、計算力をあげる。 計算のテストを実施し、平均75点以上	年間3回、計算のテストを実施する。計算力の向上を図る課題を出し、提出期限を細かく設定し計算の途中過程が正しいか細かく指導する。計算のテストを細かく分析し生徒にどこが苦手どこが得意かを認識させることにより効率よく計算の練習ができるように指導する。	4 3 2 1
		提出物や毎日の授業の板書をとることはほぼ全員が提出できた。その他の提出物もほぼ全員が提出できるようになった。授業の始めに基礎・基本問題に取り組むBasic Lessonと名付けた時間も定着した。今年度も基礎学力向上を目標に取り組ませる。	英語の基礎知識習得を目指す。 課題を仕上げ、期限までに提出できるようにする。 単語ノートの提出率100%	授業の始めに基礎力ドリルや就職試験問題を解く。 ノート提出期限を細かく設定し、根気強く指導する。 ノートを授業用と単語用の2冊準備し、ノートを丁寧に取らせるとともに、単語用のノートに繰り返し練習をさせる。	4 3 2 1
全	英語				

	語	商業科	全商英検に向け、授業や補習等で全体指導や個別指導に取り組んでいる。 生徒の検定に取り組む姿勢はよくなっており、検定を欠席する生徒もほとんどいない。今年度も目標値を達成できるように頑張らせる。	全商英検 3級保有率30%	授業や個別指導、家庭学習を重ね、資格取得に向けて取り組む。また、夏季補習や放課後補習を計画する。	4	3	2	1
全	農	農業科	農業鑑定競技について、指導方法の見直しを行い、全国大会優秀賞を目指す。	農業クラブ県予選会で、最優秀賞受賞2以上	プロジェクト発表、意見発表において個別指導を実施する。農業鑑定競技においては、個別指導を徹底する。	4	3	2	1
			昨年度の農業技術検定の合格率は90%を超えた。この高い合格率を継続させる。	農業技術検定3級合格率90%以上	科目「農業と環境」の授業で、農業に関する基礎的・基本的な知識を習得させる。放課後の補習の徹底をはかる。また、実習手帳に実習内容を記録させ学習内容の定着をはかる。	4	3	2	1
			卒業までに1種目以上の資格取得率は50%前後である。全員が取得できるように頑張らせる。	生徒一人あたり1種目以上の資格取得率70%	補習の充実や個別指導を実施し、合格率の向上を目指す。	4	3	2	1
			押し花アートやフラワーアレンジメントの作品作りを目指して、外部講師と連携する。	各種大会に出展し、県大会入選5以上及び全国大会入賞1以上	外部講師と連携をとり、「総合実習」「課題研究」で作品作製に取り組む	4	3	2	1
1 年 2 年 3 年	商	商業科	補習等で全体指導や個別指導に取り組んでおり、生徒が検定に取り組む姿勢はよくなっている。本年度も授業や補習等を充実させ、多くの資格取得を目指す。	全商検定3級3種目以上取得者 100%	習熟度別学習により、きめ細やかな指導を徹底する。放課後補習や個別指導を実施し、資格取得に向けて取り組む。	4	3	2	1
				全商検定2級1種目以上取得者 40%以上 全商検定1級1種目以上取得者 15名以上		4	3	2	1
				全商検定1級3種目以上取得者 10名以上		4	3	2	1
全	商業科・農業科	昨年度より、朝読週間を11回実施し、ほとんどの生徒が真面目に取り組んでいるが、自分で本を準備するのが難しい生徒もいる。進んで本や新聞を読むことで、「読む力」を育て、学習活動を支える基礎的・基本的な知識を身につけさせる。	真面目に取り組めた生徒 90% 充実度 80%	毎月1週間、朝の読書週間を設け、図書館の利用を促し、全職員で取り組む。 HR日誌に気になるニュースを記入することで、生徒に新聞の利用を促す。	4	3	2	1	